

建物に
快適パフォーマンスを。

2018年度 第103期 第2四半期

IR通信

2018年4月1日～2018年9月30日

More Smoothly!

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2018年度第2四半期累計期間の事業環境は、公共投資が底堅く推移し、民間設備投資も企業収益の改善を背景に増加したものの、受注競争の激化や労働者不足などが続く状況にありました。

こうした中、当社グループは、中期経営計画〔2018～2020年度〕に基づき都市圏の事業拡大や施工・営業能力の強化、業務改革の推進等の諸施策を進めてきた結果、2018年度第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

売上高は、昨年実施したM&Aによる海外連結子会社の売上が加わったものの、電力部門の配電線工事の減少などにより前年同期に比べ減収となりました。

営業利益は、継続して原価低減に努めたものの、売上高の減少に伴い売上総利益が減少したことに加え、M&A費用等の販管費が増加したことなどにより前年同期に比べ減益となりました。

受取利息などの営業外損益を加えた経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益についても、前年同期を下回りました。

今後の事業環境につきましても、引き続き堅調に推移することが期待される一方、厳しい受注環境が続くと予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、中国地域におけるリニューアル工事の提案営業の強化、都市圏の営業基盤の拡充、海外事業の拡大などを推進し、受注の確保・拡大を図ってまいります。

また、原価管理を徹底するとともに、ITの活用や業務改革等による生産性の向上により、利益の確保・拡大に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも当社グループの事業に格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月



連結業績

(単位: 百万円、%)

区 分	2017年度 【第102期】 第2四半期(累計)	2018年度 【第103期】 第2四半期(累計)	増減額	増減率
売 上 高	63,863	62,975	△888	△1.4
営 業 利 益	3,195	1,410	△1,785	△55.9
経 常 利 益	5,261	2,623	△2,638	△50.1
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,888	1,536	△2,351	△60.5

代表取締役会長

小畑 博文

Obata Hirofumi

代表取締役社長

迫谷 章

Sakotani Akira



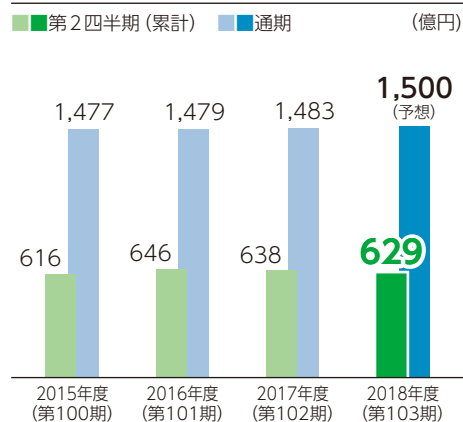
連結決算ハイライト

決算POINT

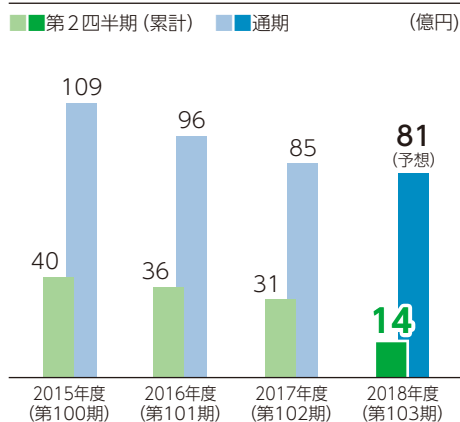
減収・減益

大型工事の進捗の遅れなどにより減収、売上総利益の減少
やM&A費用などの販管費の増加により減益

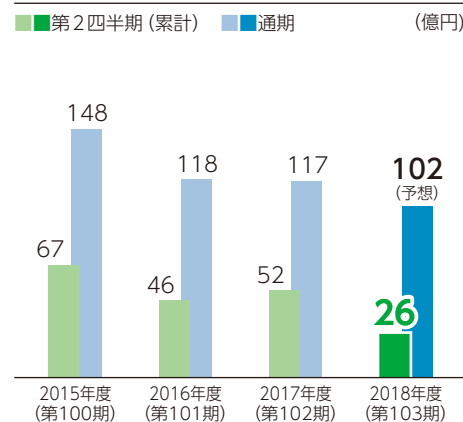
売上高



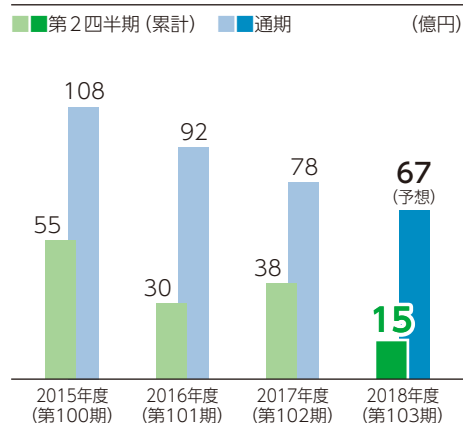
営業利益



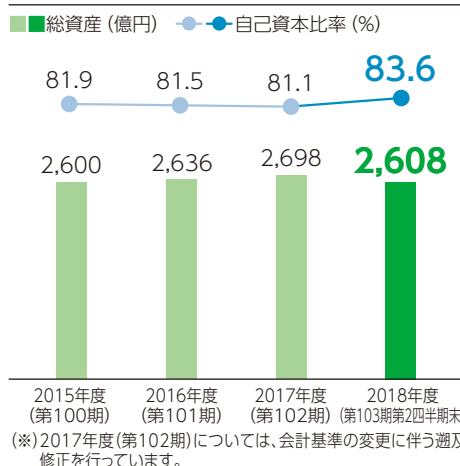
経常利益



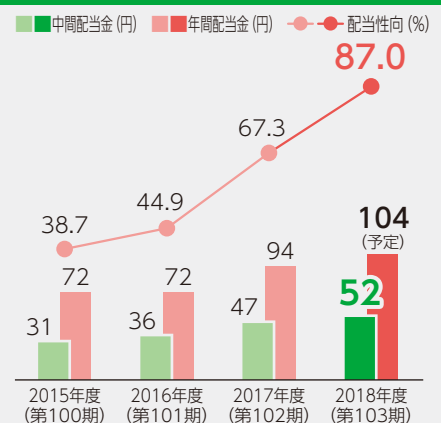
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



総資産／自己資本比率（※）



配当金／配当性向



第2四半期 工事種別受注高・売上高（個別）

受注高

663億円

売上高

550億円



屋内電気工事

	2017年度 〔第102期〕 〔第2四半期（累計）〕	2018年度 〔第103期〕 〔第2四半期（累計）〕
受注高（億円）	341	352
売上高（億円）	286	286



空調管工事

	2017年度 〔第102期〕 〔第2四半期（累計）〕	2018年度 〔第103期〕 〔第2四半期（累計）〕
受注高（億円）	154	127
売上高（億円）	99	104



情報通信工事

	2017年度 〔第102期〕 〔第2四半期（累計）〕	2018年度 〔第103期〕 〔第2四半期（累計）〕
受注高（億円）	26	39
売上高（億円）	20	18



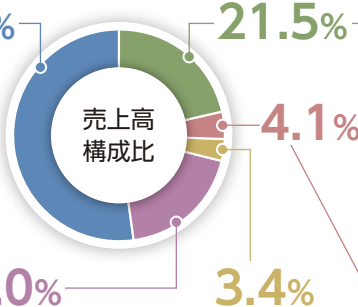
配電線工事

	2017年度 〔第102期〕 〔第2四半期（累計）〕	2018年度 〔第103期〕 〔第2四半期（累計）〕
受注高（億円）	154	120
売上高（億円）	148	118



発送変電工事

	2017年度 〔第102期〕 〔第2四半期（累計）〕	2018年度 〔第103期〕 〔第2四半期（累計）〕
受注高（億円）	47	23
売上高（億円）	16	22



TOPICS

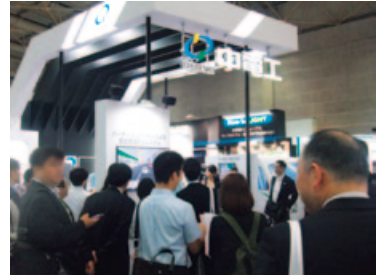
2018年
5月

JECA FAIR 2018に出展

5月23日から25日までの3日間、インテックス大阪にて開催された「JECA FAIR 2018（第66回電設工業展）」に出展しました。

当社ブースでは、製品コンクールに応募した「脚立転倒警報システム」をはじめ、「電線接続端子用ロックナット」や「移動事務所車両」「耐切創低圧ゴム手袋」などを出展したほか、「バーチャルリアリティによる安全意識向上システム」のプレゼンテーションを行うなど、当社の製品や技術力をアピールしました。

3日間の当社ブースへの来場者数は、昨年を上回る2,751名に上りました。

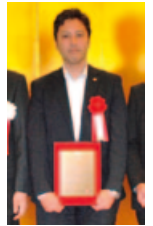


▲来場者でにぎわう当社ブース

2018年
6月

栗栖慎也氏が電気設備学会賞を受賞

6月1日、技術センター（受賞当時）の栗栖慎也氏が広島工業大学の博士後期課程において電気設備学会誌へ投稿した論文が「第29回電気設備学会賞 学術部門論文賞」を受賞しました。これは、広島工業大学の永田 武教授と共同研究した論文「分散電源の力率制御による配電システムの電圧制御マルチエージェントシステム」が評価されたものです。同日、授賞式が行われ一般社団法人電気設備学会から栗栖氏に表彰楯が贈られました。



2018年
6月



▲当社の15秒CM

広島広告企画制作賞にて銀賞を受賞

当社テレビCM「快適パフォーマンス篇」が第39回広島広告企画制作賞電波部門テレビCM15秒の部にて銀賞を受賞しました。同賞は、広島広告協会の主催で全156点の応募作品から大学教授らの審査により決定しました。6月4日に授賞式が行われ、記念品のクリスタルトロフィーを受領しました。

2018年
6月



▲写真右：表彰状を受領する小畑社長（受賞当時）

M&Aアワード特別賞を受賞

6月11日、株式会社日本政策投資銀行が主催する「第4回社会的価値・資本創出型M&Aアワード」において「特別賞」を受賞しました。

これは、当社初の海外M&AであるRYB社の株式取得に対するもので、今後東南アジアで事業を拡大していくことで、現地の良質な社会インフラ整備に貢献することが期待され、また海外企業とのパートナーシップを通じてグループ経営の多様性にもつながる取り組みであることが高く評価されたものです。

2018年
7月

「平成30年7月豪雨災害」への復旧対応

7月6日から8日にかけて中国地方をはじめ西日本の広範囲を襲った豪雨は、各地で甚大な被害をもたらしました。当社は災害発生直後から被災地に入り、倒壊した電柱の建替えや架線の修理等を行い、一刻も早い停電の復旧に努めました。また、猛暑の中多くの被災者が避難生活を強いられている広島県、岡山県内の合計28か所の避難所において、業務用エアコン設置工事や、それに伴う電源供給および電気容量増設工事を行いました。



▲停電復旧作業



▲避難所へのエアコン設置工事

会社概要 (2018年9月30日現在)

設立年月日	1944年(昭和19年)9月29日
資本金	34億8,190万5,850円
従業員数	3,473名
主要な事業内容	屋内電気工事、空調管工事、情報通信工事、配電線工事、発送変電工事の設計施工
本店	広島市中区小網町6番12号
主要な事業場	広島・岡山・山口・島根・鳥取統括支社、東京・大阪本部、九州支社、電力建設所

株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	56,181,019株 (自己株式1,957,098株を除く)
株主数	5,871名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
中国電力株式会社	21,892,259	38.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,872,600	5.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	1,673,900	2.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,535,100	2.73
株式会社中国銀行	1,398,619	2.48
株式会社山陰合同銀行	1,256,481	2.23
明治安田生命保険相互会社	1,129,465	2.01
株式会社広島銀行	1,036,180	1.84
株式会社山口銀行	1,000,279	1.78
中電工従業員株式投資会	913,849	1.62

(注) 当社は、自己株式を1,957,098株保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

役員 (2018年9月30日現在)

代表取締役会長	小畑 博文	取締役 常務執行役員	山田 昌志
代表取締役社長	迫谷 章	取締役 (社外取締役)	見立 和幸
代表取締役 副社長執行役員	畠 由紀男	取締役 (社外取締役)	鶴 衛
取締役 専務執行役員	國木 恒久	常任監査役	四方田 茂
取締役 専務執行役員	伊藤 聖彦	常任監査役	廣田 充
取締役 専務執行役員	堤 孝信	監査役 (社外監査役)	椎木 タカ
取締役 常務執行役員	緒方 秀文	監査役 (社外監査役)	川平 伴勅
取締役 常務執行役員	熊崎 村夫	監査役 (社外監査役)	松村 秀雄

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会開催時期	毎年6月中
同総会権利行使株主確定日	毎年3月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所・問合せ・郵便物送付先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法

電子公告により、当社ウェブサイト
(<http://www.chudenko.co.jp/info/topic/news.html>)
に掲載いたします。
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、広島市において発行する中国新聞並びに日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所

重要なお知らせ

特別口座の株主さまへ

株券電子化により、すべての上場会社の株式は、証券会社等の口座で電子的に管理されるようになりました。株券電子化移行時点で、証券会社を通じ株券を「株式会社証券保管振替機構」に預けられていなかった株式、あるいは単元未満登録株式等株券が発行されていない株式など、**証券会社の株主さまの口座で電子的に管理されなかった株式は**、株主権保護のため、当社が株主さま名義で三菱UFJ信託銀行に開設した特別口座にて電子的に管理しています。

しかしながら、特別口座に記録された株式は、このままでは証券市場での売却等ができないばかりか、相続手続きが煩雑になるなどの制約がございます。

つきましては、次の当社特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へご連絡のうえ、「口座振替申請」のお手続きを行っていただきますようお願いいたします。

特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

単元未満株式(100株未満の株式)をお持ちの株主さまへ

当社の株式は、100株が1単元(売買単位)となっており、100株に満たない株式(単元未満株式)は、市場で売却することができません。

単元未満株式は、当社に対して買取請求(売却する)、または買増請求(買い増して100株にする)ができますので、ご検討いただけますようお願いいたします。

【お問い合わせ・ご請求先】

- ① 証券会社に単元未満株式をご所有の株主さま
株主さまの口座がある証券会社
- ② 特別口座に単元未満株式をご所有の株主さま
特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

ご注意 このお知らせは、口座振替申請・買取請求等を強制するものではありません。本手続きに際しましては、株主さまご自身でご判断くださいますようお願いいたします。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境にやさしい植物油インキ
(ベジタブルインキ)を使用
しています。